

名古屋の噺本 『按古於当世』

『鹿の子餅』(明和九年刊)より

語り: 島田大助 教授
(豊橋創造大学)

噺本は江戸時代には出版され続けた笑い話の本です。本の大きさ、挿絵のあるなしなどに違いはありますが、江戸時代を通じて出版され続けた点に、この本の魅力が示されていると思います。

名古屋の貸本屋大野屋惣八の印がある、名古屋出来の噺本『按古於当世』(文化四年)を中心にして、江戸時代の笑い話についてお話しします。

2012年2月21日(火) 午後6時～
名古屋大学中央図書館5階多目的室

参加無料
申込不要
会員以外の方も歓迎します

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3666
FAX 052-789-3693
E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)
名古屋大学附属図書館,
同研究開発室

